

両親が告訴状提出

東京女子医大
医療ミス問題

東京女子医科大学病院

(東京都新宿区)で昨年

3月、心臓手術を受けた

群馬県高崎市江木町の小

学6年生、平柳明香さん

(当時12歳)が人工心肺

装置の操作ミスが原因で

死亡した問題で、歯科医

の父利明さん(51)ら両親

は8日、手術を担当した

り、指導した医師5人に

ついて業務上過失致死の

疑いで警視庁牛込署に告

訴状を提出した。

両親は、この医師5人

を人工心肺装置のトランプ

ルや本来の症状を診療記

録に記載しなかった医師

法(診療録記載義務)違

反の疑いでも、また別の

医師1人も死亡診断書に

死因の種類を「病死およ

び自然死」などと虚偽記

載した刑法の虚偽診断書
作成の疑いで、いずれも
告発状を提出した。

利明さんは「死因の隠

ぺいを重ねた医師は許し

難い」と話している。

同病院は「病院として

は遺族に報告書を出して

謝罪している。要請があ

れば(捜査に)協力した

い」とコメントした。

【清水憲司】

女子医大小児心臓手術事故

執刀医らを告訴

2002年1月8日 毎日新聞夕刊